

算数

第6学年

育成を目指す資質・能力

【論理的思考力】

「めざせ！握力UPプロジェクト」(資料の調べ方)

【単元の概要】

毎年実施している新体力テストでは、その結果から課題の把握や改善への取組を行っています。本校児童の課題は「握力」で、握力向上のための手立てを講じていく必要があります。ここでは、児童自らが具体的な数値を基にして、既習である「平均」や「単位量あたりの大きさ」を用いることや、表やグラフで表して傾向や特徴を掴み考察します。本単元の学習活動を通して、統計的な処理のよさを味わったり、児童が主体的に握力向上に取り組んだりできるようにしていきます。

◆単元の目標

資料の代表値としての平均、度数分布表や柱状グラフなどを知り、統計的に考察したり表現したりすることができる。

◆単元の計画(全12時間)

【課題の設定(1時間)】

・新体力テストの握力の記録を見て、握力に課題があることに気づき、握力をもっとつけたいという思いをもつ。まずは、自分たちと同年代の子供の握力とを比べるには、どうすればよいかを考える。

【情報の収集(1時間)】

・二つの記録についてどのような比べ方があるのかを考え、必要なデータを収集する。

【整理・分析①(2時間)】

・左右の握力の特徴を調べるときに平均を用いることがあることを理解し、平均で比べることのよさに気付く。

【整理・分析②(3時間)】

・平均以外の見方もできるのではないかという疑問から、散らばりの様子を数で表すために、数直線上に表したり度数分布表に整理したりする。

・散らばりの様子を調べると、資料全体の分布の様子や特徴が分かりやすくなることを理解する。

【整理・分析③(2時間)】

・資料の平均や散らばりの様子について調べたことを、目的に応じた表やグラフなどにまとめる。

・調べてまとめた表やグラフなどを基に、握力の記録について様々な視点から統計的に考察し、自分たちの課題について結論をまとめる。

【まとめ、実行(3時間)】

・学習したことを生かして、握力以外の新体力テストの記録についても調べる。

・学習の振り返りを行う。

・複数の統計結果から見えてきた自分たちの課題を整理し、握力等を高めていくため、今日からできる運動や生活の仕方を考える。

・2学期にも握力を測定して、1学期の記録と比べた傾向や特徴の変化をつかむという見通しをもつ。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
算数	1	「つくろう！ゆめのまち」(かたちあそび)
	2	「アイスクャンディを作ろう」(水のかさをはかろう)
	2	「ひょうとグラフ」(表とグラフ)
	3	「買い物祭りを楽しもう！」(暗算)
	4	「2分の1成人式の写真たてを作ろう」(割り算の筆算)
	5	「誕生日会のプレゼントを作ろう！」(合同な図形)
	5	「直方体や立方体のかさの表し方を考えよう」(直方体・立方体の体積)
総合的な学習の時間	3	「めざせ名人 筆豆作り」(地域)
	4	「二河川クリーン・プロジェクト」(環境)
	5	「熊野町の米作り」(環境)
	6	「守りたい 自分の命とみんなの命」(防災)